



特集 株式会社HOWSとの次世代Webシステム基盤技術の共同研究・開発 『三技協オプティマイゼーション・テクノロジーラボ』設立

株式会社HOWS（本社：東京都台東区、代表取締役社長：庄司 渉 以下：HOWS）並びに株式会社三技協（本社：神奈川県横浜市都筑区、代表取締役社長：仙石通泰 以下：三技協）はビジネスパートナーとして技術提携を結ぶことで合意しました。

さらに、両社の技術を融合し、新たな製品・サービスを創出することを目的とした『三技協オプティマイゼーション・テクノロジーラボ』の設立を実現しました。

提携に至った背景

当社が提供する製品・サービス全般に全体最適化を推し進めていくためには、これらをアウトソーシングに頼るのではなく自社での開発力を高めていく事が必要でした。それには理論的な思考ができる技術者の育成が必須であると考え、力を入れてきました。そのような状況の中、HOWSの技術者養成プログラムを受講した当社の技術者が、思いがけない程大きな成果を上げて帰ってきたのです。

この成果が具体的な方向性を示すきっかけとなりました。競合各社に対する優位性を築く上で、先進技術を取り入れるために必要な要素は何か。シンプルに考え抜いた結果、HOWSとの「技術提携」という答えが導き出されました。



HOWS・三技協の技術開発者による三技協オプティマイゼーションテクノロジーラボのメンバー

今後の展開は

設立された『三技協オプティマイゼーション・テクノロジーラボ』では、高い技術と斬新なアイデアによって日々開発が進んでいます。その第1弾は【PINアイコン】です。

【PINアイコン】はローマの学会やジャーナルにも論文が提出され、国際特許を申請するに至りました。

また、アプリケーションの商品化となる第1ステップは、現在当社で活用している[サイバermanual]の根幹をHOWSのシステムに置き換える開発です。これにより、データベースの検索速度が飛躍的に向上し、



画期的なアイコン操作をもつ【PINアイコン】画面

データ量増加に伴う諸問題も解消できると予測されます。

第2ステップでは、第1ステップ版をベースにユーザー側からの視点で機能の改善検討を行い、商品化に繋げていくことが計画されています。

今回の技術提携により、的確なシステムを構築出来るだけでなく、高いレベルでシステムデザインができる「システムアーキテクト」という技術者の育成が進められるでしょう。それにより、的確に業務を[Optimization]できる仕組みを世の中に提供していくことが、三技協の目指す展開なのです。

詳細は三技協WEBサイトにて www.sangikyō.co.jp

危機管理学会

2008年5月、日本危機管理学会の日中国際会議が北京・上海・香港の3ヶ所にて開催され、要請により社長仙石とCSR推進本部 中村が参加いたしました。私達の中国への到着は四川省大地震が発生した当日でしたが、壮大な空港には非常事態を感じさせる気配はありません。地震のことは携帯電話への連絡から知らされることになりました。その後はメディアが次々と報道を展開し、深刻な状況が明らかになって行きました。

仙石の目的は、日中国際会議の場で危機管理の研究者や専門家の方々へ、Optimization-Wareを使用することにより様々なリスク低減が可能であること、組織内の「見える化」が劇的に推



進できることをお伝えすることでした。

連日の中国メディアの報道で知った地震被害の深刻さから、仙石の講演にはいつになく力が入っていると感じました。「...このようにOptimization-Wareの考え方を取り入れることにより、リスクは減らすことができます」との言葉を、真摯に聞いて頂いた清華大学や華東師範大学そして香港の方々へ接して、異なる考えや方法をできるだけ吸収しようとする真剣な研究者の方々へ、躍進する大国中国の未来を感じ取りました。



上海講演風景

CTIA Wireless 2008調査チームレポート

弊社はITU・3GSM・CeBIT等の海外展示会やセミナーへ、情報の収集とトレンドの見極めのために調査団の派遣を続けております。今年の4月に米国にて開催されましたCTIA Wireless 2008(CTIA)を8名のメンバーが調査致しました。



どこもかしこもWiMAX

CTIAは全世界のモバイル業界から1,100社を超える出展企業と業界団体が集結し、世界125ヶ国から4万人を超える来場者が訪れます。この巨大な見本市は最新の無線技術をとにかく技術や話題を得るためには最適であり、モバイル業界のトレンドを感じるためには重要な位置を占めています。当記事は調査レポートから携帯電話の次世代通信規格につきましてポイントレポートをお届けします。

【通信インフラの動向】

今回のCTIAは3GSMと同様に「WiMAX」と「LTE」の展示一色であった。

特に、Verizon Wireless社のネットワークのオープン化により「LTE」が中核的に普及することが読み取られる、またSPRINT社の「WiMAX」導入も重要なファクター。

【ネットワークのオープン化】

異なるネットワーク・OS・インターフェイス（[WiMAX]、[ANDROID]など）のオープン化による新しい市場の活性化。

【「iPhone」に代表されるスマートフォン端末とアプリケーションの多様化】

「電話ができる」から「電話もできる」へシフト、日本と同様なコンテンツ配信（音楽・映像など）やGPS連動などの高機能なサービスの普及、それに伴う勝手サイトの増加による多様性の広がり。

【測定器のトレンド】

測定器メーカーのトレンドは「LTE」と「WiMAX」に偏っており、需要は「LTE」への集中が見られた。

紙面の都合で全てをお伝えすることは出来ませんが、携帯電話の通信方法はより大容量・高速化し次世代のネットワークへのシフトが間近に迫っています。弊社はどのような変化にも対応し、お客様



ディスカッションも貴重な情報源です

のご要望に対応する準備を怠らず未来へ進んでおります。

What's New 三技協

【岩手国際ソフトウェアシンポジウム】2008年5月『岩手県立大学国際ソフトウェアシンポジウム』において、“世界からみた岩手や日本の産学連携”とするパネルディスカッションが行われました。パネラーには弊社副社長のDr.丸田が参加し、各分野で活躍されている先生方と共にセッションを展開しました。

【Prof. Parnas講演会】

ソフトウェア工学の世界的権威である、David L Parnas教授をお招きし、弊社社員を対象とした講演会を開催しました。博士が長年研究されている「Document Driven Software Project Management（ドキュメント指向のソフトウェア・プロジェクト管理）」についてお話し頂きました。



【組織変更】

2008年6月弊社における年度の切替時に合わせ、組織変更が行われました。それに伴い一部部門の名称が変更されました。

本部では【市場開拓本部】が新設され、営業活動を中心とした業務を担います。

全社各部門で[Optimization]を業務のベースとして浸透させていこうというコンセプトが表れています。

【新入社員】 2008年4月、三技協グループでは40人の新入社員を迎えました。皆それぞれの希望を胸に新しい環境で歩み始めました。一人ひとりが目標に向かって頑張っている真摯な姿は、中堅・ベテラン社員が昔の自分を思い出す鏡となっていま



す。数ヵ月後には若い力と中堅・ベテランの歯車がしっかり[Optimization]（最適化）されていることでしょう。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

訪れた北京は、夏のオリンピックを目指して大きく姿が変わり行く途中でした。活気のある都市の中に立つと、まるで東京でオリンピックが行われた頃の日本を思い出しました。次号は8月発行予定です、暑さ真っ直中にお届けします。N

【福島三技協創立20周年】

弊社グループ会社である福島三技協が創立20周年を迎えました。大きな節目を長尾社長をはじめとする全社員で祝福しようと、記念パーティーが開催されました。目標に向かって団結した社員の熱意や活気が随所に感じられました。



発行者 株式会社 三技協

発行責任者 丸田力男

住所：横浜市都筑区池辺町4509
TEL：045-931-1111 FAX：045-931-0001
E-mail：info@sangikyo.co.jp
URL：www.sangikyo.co.jp